



平成 27 年 4 月 22 日

各 位

上場会社名 株式会社スクロール
代表者 取締役社長 堀田 守
(コード番号 8005)
問合せ先責任者 経営統括部 経営企画課長 鈴木 康晴
(TEL 053-464-1114)

特別損失の計上(個別)及び繰延税金資産の取崩し並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期決算におきまして、下記のとおり、特別損失の計上(個別)及び繰延税金資産の取崩しを行うことといたしましたのでお知らせいたします。本件処理に伴い、平成 26 年 10 月 17 日に公表しました平成 27 年 3 月期通期連結業績予想及び平成 27 年 3 月期通期個別業績予想の修正を行いましたので、併せてお知らせいたします。

記

I . 特別損失の計上について

1. 子会社株式の減損処理に伴う特別損失の計上について(個別)

当社連結子会社の財政状態及び経営成績の悪化により実質価額が著しく低下したため、「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、関係会社株式評価損として特別損失 1,373 百万円を計上いたしました。

(関係会社株式評価損の内訳)

株式会社豆腐の盛田屋	758 百万円
北海道アンソロポロジー株式会社	614 百万円

2. 貸倒引当金繰入額の計上について(個別)

当社連結子会社の財政状態及び経営成績を勘案した結果、当該子会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額 557 百万円を計上いたしました。

(貸倒引当金繰入額の内訳)

株式会社豆腐の盛田屋	271 百万円
北海道アンソロポロジー株式会社	235 百万円
株式会社 AXES	50 百万円

3. 業績に与える影響

本件の関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額は、連結上相殺消去されるため、当該損失が連結業績に与える影響はありません。なお、連結決算において、買収時に発生した当該子会社に係るのれんの未償却分 153 百万円を一括償却いたします。

II . 繰延税金資産の取崩しについて

当期及び次期以降の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、個別決算においては貸借対照表に計上していた繰延税金資産のうち 640 百万円を取崩し、同額を法人税等調整額に計上いたしました。また、連結決算においては連結貸借対照表に計上していた繰延税金資産のうち 704 百万円を取崩し、同額を法人税等調整額に計上いたしました。

Ⅲ. 連結業績予想の修正について

平成 27 年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年4月 1 日～平成 27 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 68,500	百万円 △2,300	百万円 △2,000	百万円 △2,000	円 銭 △60.14
今回修正予想(B)	63,555	△1,743	△1,442	△2,649	△79.54
増減額(B-A)	△4,945	557	558	△649	
増減率(%)	△7.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年3月期)	68,253	△147	233	517	15.63

Ⅳ. 個別業績予想の修正について

平成 27 年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成 26 年4月 1 日～平成 27 年3月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 49,000	百万円 200	百万円 200	円 銭 6.01
今回修正予想(B)	44,791	490	△2,286	△68.64
増減額(B-A)	△4,209	290	△2,486	
増減率(%)	△8.6	145.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年3月期)	49,525	1,596	1,793	54.15

修正の理由

連結及び個別業績予想につきましては、売上高は前回発表予想を下回る見通しとなりましたが、営業利益及び経常利益は販売費及び一般管理費の削減により前回発表予想を上回る見通しとなりました。しかしながら当期純利益におきましては、上記のとおり特別損失の計上(個別)及び繰延税金資産の取崩しを行うこととなりましたため、連結及び個別の当期純利益が前回発表予想を下回る見通しとなりました。

なお、現下の厳しい経営環境ではありますが、期初に公表したとおり1株当たり年間配当金 10 円(第2四半期末5円、期末5円)に変更はありません。

※ 上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上